

なると 近鉄電車 の関わり

奈良のまちと人の暮らしを支えてきた近鉄電車

その線路上には、地域の歴史や文化、そして人々の想いが息づいています

本講座では、大学教員と近鉄職員がそれぞれの視点から、近鉄電車と奈良の歩み、沿線に広がる大和古寺の魅力、そして特別支援教育における『鉄オタ倶楽部』の活動などを紹介します

鉄道を通して奈良の地域資源や文化を見つめ直し、観光やまちづくりの新たな可能性を一緒に考えてみませんか



9020系 シリーズ21 近鉄奈良線（富雄～学園前）「近鉄グループホールディングス㈱」提供



受講対象者

観光業、宿泊業、飲食業、小売業、運送業の経営者及び従業員、近鉄沿線企業の経営者、講座内容に関心のある方



受講形態

対面、オンライン（オンデマンドを含む）



受講証明

一定基準を満たした場合、デジタル認証（オープンバッジ）が取得できます。



実施日程（裏面参照）

2026年1月10日(土)、18(日)、20(火)、26日(月)

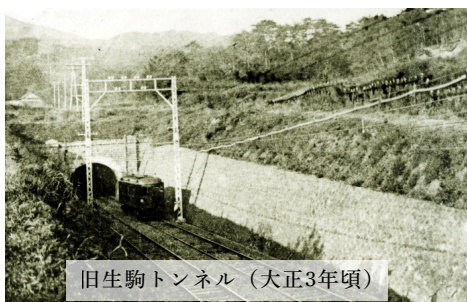
アクセス

〒630-0257 奈良県生駒市元町1丁目8-3

● 電車をご利用の場合 ● お車をご利用の場合

近鉄生駒駅より徒歩3分

生駒駅南自動車駐車場(有料)をご利用ください。(住所：生駒市本町3の3)



旧生駒トンネル（大正3年頃）

「近鉄グループホールディングス㈱」提供



生駒駅（大正9年頃）

「近鉄グループホールディングス㈱」提供



実施会場

生駒商工会議所別館



募集人数

40名（先着）



受講料（全4回）

3,000円（税込）



申込方法・期限

右記QRコードにて受付
申込期限：2026年1月4日(日)

※定員に達した場合は、期限前であっても募集を締め切らせていただく場合があります。

※定員に満たない場合は申込受付を継続します。

全4回
連続講座

※詳細は裏面参照



2026年1月10日（土）14：00～15：30

近畿日本鉄道と古都・奈良

奈良大学
文学部・教授
三木 理史 氏



近畿日本鉄道の前身である大阪電気軌道の成り立ちと、古都・奈良における駅の開設、創業線の奈良線および畝傍線(現橿原線)、生駒鋼索鉄道(ケーブル)、天理軽便鉄道、大和鉄道、奈良電気鉄道などを取り上げます。

2026年1月18日（日）14：00～15：30

地域振興と観光支援活動

近畿日本鉄道株式会社 創造本部観光開発・地域共創部 部長 森本 耕司 氏
近鉄グループホールディングス株式会社 広報・宣伝部 係長 木本 和彦 氏
近畿日本鉄道株式会社 近鉄生駒駅 駅長 柳谷 裕一 氏



近鉄奈良線（学園前～菟瀨池）「近鉄グループホールディングス様」提供

近鉄は明治43年(1910)9月16日に設立した「奈良軌道株式会社」が源流で、現在は大阪府・京都府・奈良県・三重県・愛知県の2府3県に跨る501.1kmの営業キロを有しています。生駒駅や周辺主要駅の地域との関わりを【過去】・【現在】・【未来】に分け、様々なエピソードやトピックスを交えて、現役の近鉄社員3名が紹介します。

2026年1月20日（火）16：30～18：00

生駒を起点にたどる大和古寺の魅力 ―仏像に出会う沿線ガイド―

奈良女子大学
文学部・准教授
佐藤 有希子 氏



生駒を起点に、大和路の古寺をめぐりながら、仏像の魅力と信仰の背景を読み解きます。沿線に息づく文化遺産の価値を探るとともに、観光資源としての魅力を紹介します。地域の歴史と信仰を体感し、語れる視点を養います。

2026年1月26日（月）16：30～18：00

奈良教育大学特別支援教育研究センター『鉄オタ倶楽部』の取り組み

奈良教育大学
特別支援教育研究
センター・准教授
富井 奈菜実 氏



「鉄オタ倶楽部」は、発達障害のある子どもたちを対象とした、彼らが愛してやまない鉄道をとことん追求してもらう場です。彼らのいきいきとした姿を通して、「好き！」を追求することの意味を考え合いたいと思います。ちなみに、人気No.1はやはり近鉄電車です！

留意点

- ・本講座受講前に履修ガイダンス（無料）を受講してください。受講方法については受講確定後にお知らせいたします。
- ・会場までの交通費や駐車場料金は自己負担となります。

お問い合わせ先



国立大学法人奈良国立大学機構
奈良カレッジ連携推進センター
リカレント教育推進部門

TEL：0742-20-3834

Mail：nara_recurrent@cc.nara-wu.ac.jp